

国土交通大臣
太田 昭宏 殿

川崎商工会議所
会 頭 山 田 長 満

川崎市の幹線道路の整備を促進する会
会 長 山 田 長 満

川崎市長 阿 部 孝 夫

川崎縦貫道路等の早期整備について（要望）

先の東日本大震災から得られた教訓を踏まえ、「防災・減災等に資する国土強靱化基本法」の制定に向けた動きなど、復旧、復興活動における人・モノの輸送に大きく貢献する広域的な道路交通ネットワークの構築は、その重要性が高まっていくものと考えております。

こうした中、川崎市は、羽田空港を至近に有し、首都圏における地理的優位性や高度な研究開発機能の集積などを強みとして、臨海部を中心に既存産業の高度化・高付加価値化や先端産業の集積・創出、物流機能の高度化などにより活力ある地域が形成され、持続的な発展を続けています。また、「京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区」として、多摩川を挟んで羽田空港の対岸に位置する殿町地区を中心に、わが国の国際競争力の強化に資する国際戦略拠点の形成を推進しており、羽田空港を核とした一体的な拠点形成に繋げるためにも、交通機能の更なる強化が必要です。加えて、川崎臨海部は東扇島基幹的広域防災拠点やエネルギー供給施設の集積など重要な役割を担っているエリアを有しており、災害時における交通機能の確保という観点からもミッシングリンクの早期解消は不可欠です。

しかしながら、川崎縦貫道路をはじめとする、幹線道路の整備は進展しておらず、首都圏における優れた立地性や防災機能を十分に発揮する状況にないことから、大震災の教訓を生かした早急な対応を求める声が、産業界や市民からも数多く聞かれております。

つきましては、一刻も早くミッシングリンクを解消し、国際物流拠点強化、災害時緊急輸送及び迂回機能の強化、環境改善、新産業誘発、国際競争力の強化など多様な効果を生む次の3点の幹線道路整備にご高配賜りたくお願い申し上げます。

1. 川崎縦貫道路Ⅱ期計画について、東京外かく環状道路東名以南との一本化を含めた幅広い検討を進め、早期に計画の具体化を図ること。
2. 川崎縦貫道路Ⅰ期事業の街路計画を基本に、国道409号の一般部の先行整備や川崎駅周辺の交通円滑化のための国道15号～国道1号間のバイパス化などの整備について、早期実施を図ること。
3. 羽田連絡道路の早期整備に向けて、具体的な取り組みを進めること。また、高速湾岸線や一般国道357号については、東扇島と扇島などを結ぶ交通ネットワークの整備について検討を進めること。

以 上